

ふみ
書も読む

樋口二葉作

たけくらべ



アフタートーク
『一葉再発見—その音楽性』

出演者による実演付

一葉は再発見されなければならぬ。
一葉の世界には和歌、王朝文学、江戸の西鶴、
近松門左衛門の劇世界が込められている。
それは声にされることで完成される。
いかに語るかと、多彩な音曲が一体化した表現を目指す。

よそながらかけだに見んと幾度か

君が門をば過ぎてけるかな

底深き心もしらでひたすらに

恨みしことぞ恨みなりける

一葉

語り 坂本有子

〈坂本有子プロフィール〉2020年鏡仙会能舞台で『平家物語』

「灌頂の巻」の語り公演。一葉は、台東区立二葉記念館での一葉勉強会（講師熊澤南水氏・澤田章子氏）以降、記念館での「たけくらべ」（群読）、「雪の日」、千代田区立内幸町ホール主催一葉お誕生日公演

音楽 佐藤岳晶

での「一葉の恋」（演出成瀬芳一氏）、「たけくらべ」（演出壤晴彦氏）、

音楽 設楽瞬山

神奈川近代文学館での一葉展開催中の加賀美幸子氏講演会で「たけくらべ」等の朗読。日舞は、2025年5月浅草公会堂での藤間紋寿



演出 笠井賢一

郎追善公演にて（紋寿郎振付、大和楽）「樋口一葉」に出演。日本赤十字社東京都支部朗読赤十字奉仕団委員長、子どもへの読み聞かせグループ「にじいろのかぜ」主宰。

2026年1月30日(金)

14時開演(13時30開場)

●なかの芸能小劇場

〒164-0001
東京都中野区中野5-68-7

●入場料(全自由席)

3000円(税込)

●お申込み・お問合せ

電話 090-2414-3478(坂本)

メール ioyou@gk2.so-net.ne.jp

